

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 永坂 奎兵衛（ながさか もくべえ） ～

1788 年（天明 8 年）～ 1944 年（昭和 19 年）まで、愛知県碧南市で 6 代にわたり瓦を製造した鬼師（鬼瓦職人）。

永坂奎兵衛家は 2 代目〔1757 年（宝暦 7 年）～1826 年（文政 9 年）〕が京都で最新の製瓦法を学び、1788 年（天明 8 年）に郷里の碧南市において、瓦生産を本格的に始めたとされます。7 代目が 1944 年（昭和 19 年）に休業するまで、6 代にわたり瓦を生産していました。

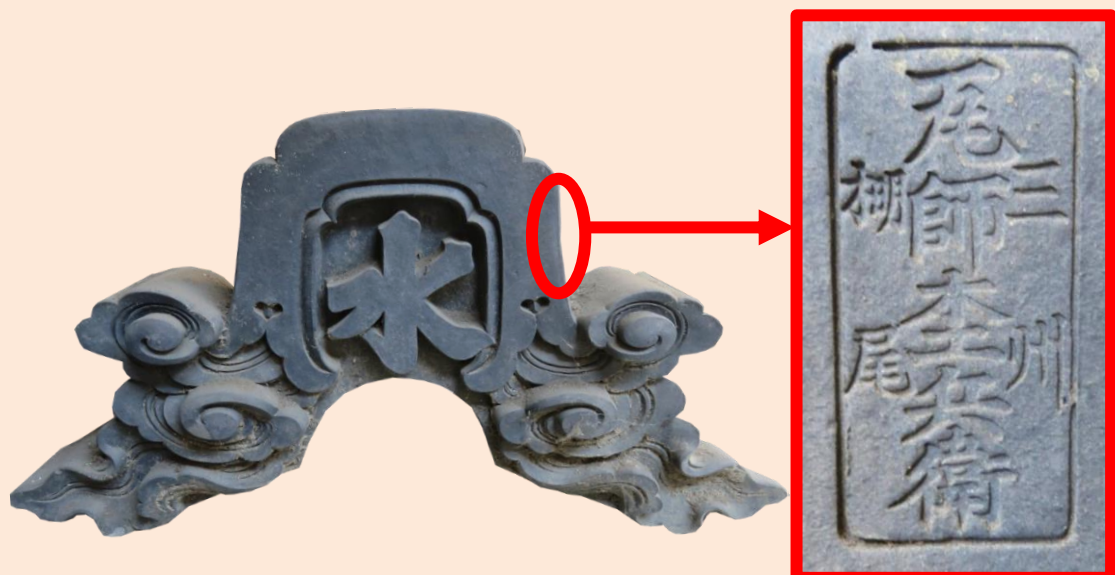
全国に 70 人～80 人いる鬼師のうち約 50 人が愛知県の碧南市、高浜市を拠点にしています。西三河地域に集まっているのは、三州鬼瓦の名工と知られた 2 代目永坂奎兵衛と高浜市の山本吉兵衛〔1830 年（天保元年）～1904 年（明治 37 年）〕の存在が大きく影響しています。

明治 21 年に発行された「参陽商工便覧」には、永坂奎兵衛の工場の絵が掲載されています。

永坂奎兵衛は数々の賞を受賞しており、2018 年（平成 30 年）9 月 29 日～11 月 11 日に岡崎市美術博物館で開催された「明治一五〇年 近代日本の挑戦者たち―博覧会にみる明治の三河―」では、内国勸業博覧会に瓦を出品した際の関連資料が多数展示されました。

当社史料室には昭和初期に永坂奎兵衛の自宅宛に味噌をお送りした記録が残っています。自宅は碧海郡棚尾町（現・愛知県碧南市）。

当社史料館には、当社の蔵の屋根に設置されていた奎兵衛の鬼瓦を常設展示しています。瓦には「三州 瓦師 奎兵衛 棚尾」の文字が確認できます。



<「永坂奎兵衛」の鬼瓦>

<「永坂奎兵衛」へ味噌をお送りした記録(荷物発送簿)>

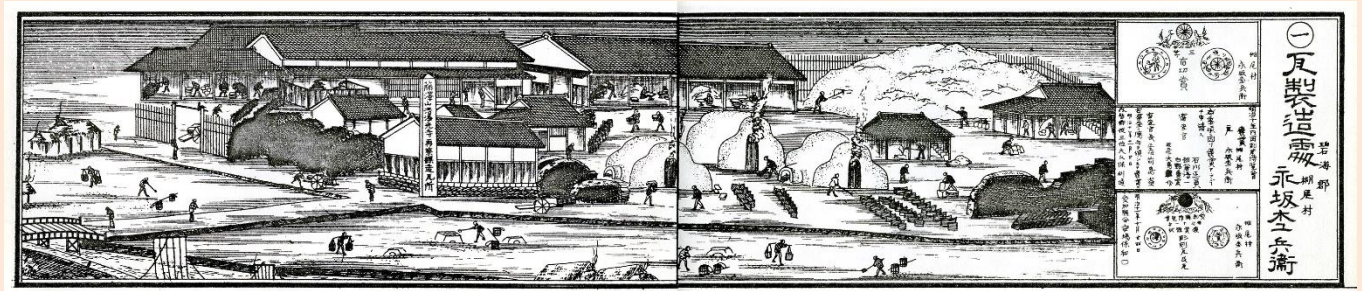
年月日	荷受人住所	氏名	登録日	注文主	数量	扱別	運賃	為換	税地荷戻店	着地荷戻店	摘要
10/3/			3/		4 4 /	テ小	55	260	1/2	1/2	
			4/		1,000 包	テ小	45	120	1/2	1/2	
			4/		720 包	テ小	30				
			4/		6,500 包	テ小	60				
			4/		1,820 包	テ小	60				
			4/		3,000 包	テ小	65				
			4/		100 包	テ小	65				
			4/		85 包	テ小	20				
			4/		1,300 包	テ小	90				
			4/		1,500 包	テ小	25				
			4/		90 包	テ小	55	260	1/2	1/2	
			4/		1,750 包	テ小	35				
			4/		100 包	テ小	20	819	1/2	1/2	
			4/		100 包	テ小	20				
			4/		1,000 包	テ小	25				
			4/		1,000 包	テ小	25				
			4/		1,500 包	テ小	110	205	1/2	1/2	
			4/		1,500 包	テ小	110	205	1/2	1/2	
			4/		1,500 包	テ小	110	205	1/2	1/2	
			4/		2,000 包	テ小	60				
			4/		1,000 包	テ小	20				
			4/		100 包	テ小	20				

<展覧会「近代日本の挑戦者たち」の図録の「永坂奎兵衛」掲載部分>

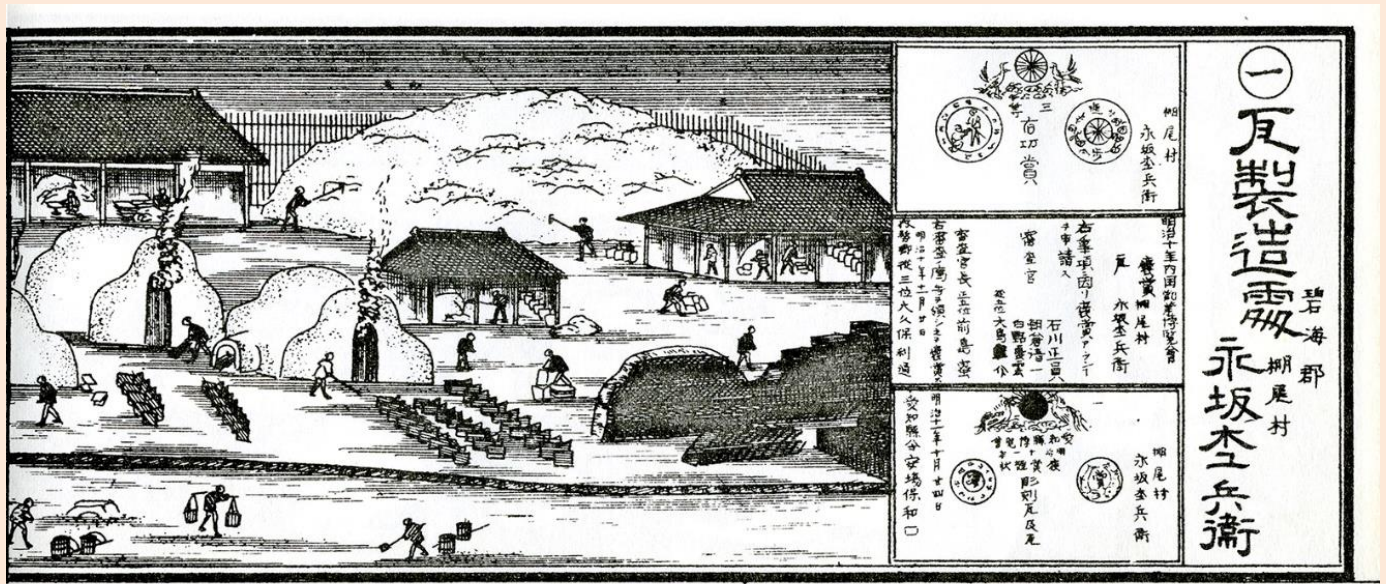


< 参陽商工便覧(明治 21 年 6 月 24 日出版)の「永坂全兵衛」掲載部分 >

全体図



右半分の拡大図



左半分の拡大図

